

豊川水系河川整備計画 (大臣管理区間)に基づく 河川整備の実施状況



目 次

河川工事

- ・ 河川整備計画施工箇所位置図 3
- ・ 霞堤対策 4
- ・ 河道改修・河川環境の整備と保全 5
- ・ 堤防補強 7
- ・ 内水対策 8
- ・ 耐震対策 9
- ・ 設楽ダムの状況及び今後の予定 10

河川維持

- ・ 平常時の管理 18
- ・ 危機管理体制 20
- ・ 河川情報システムの整備 21
- ・ 豊川流況改善事業 22
- ・ 水質事故への対応 24

その他の事項

- ・ 調査研究等の推進 26
- ・ 河川情報の公開・提供の促進 28
- ・ 河川の協働管理 31
- ・ 安全な河川敷地利用のための検討会 . . . 32
- ・ 刈草の有効利用 33

流域圏一体化

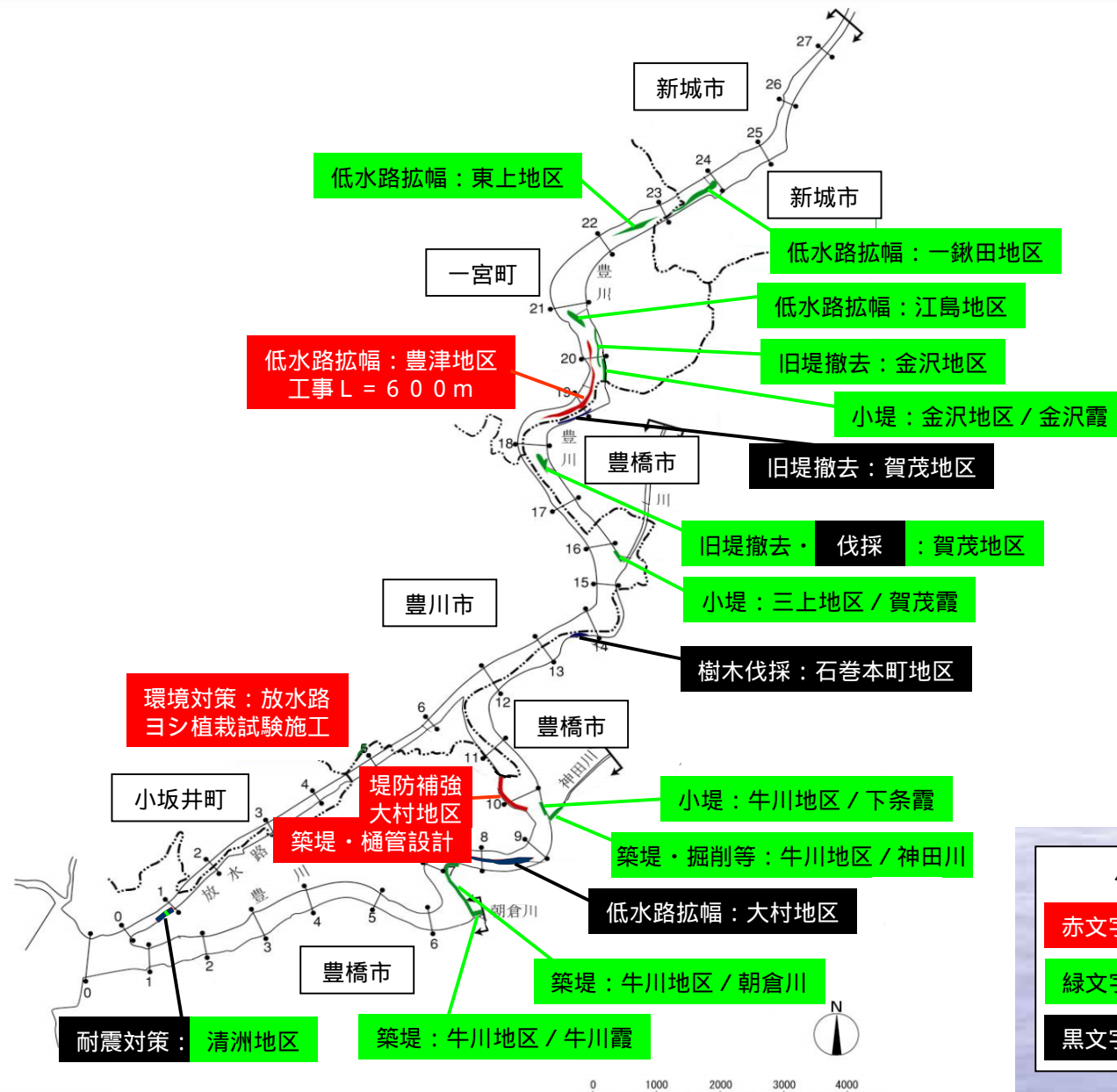
- ・ 関係機関・地域住民との連携（１） . . . 35
- ・ 関係機関・地域住民との連携（２） . . . 36
- ・ 関係機関・地域住民との連携（３） . . . 37
- ・ 関係機関・地域住民との連携（４） . . . 38
- ・ 関係機関・地域住民との連携（５） . . . 39
- ・ 関係機関・地域住民との連携（６） . . . 40
- ・ 関係機関・地域住民との連携（７） . . . 41

河川工事

- ・ 河川整備計画施工箇所位置図
- ・ 霞堤対策
- ・ 河道改修・河川環境の整備と保全
- ・ 堤防補強
- ・ 内水対策
- ・ 耐震対策
- ・ 設楽ダム の状況及び今後の予定

河川整備計画施工箇所位置図

河川工事



凡例

- 赤文字 今年度実施箇所
- 緑文字 整備計画箇所
- 黒文字 施工済み箇所

霞堤対策(牛川、下条、賀茂、金沢)

- 地元説明開催状況

日付	霞	参加住民	人数
9月16日	下条霞	豊橋市暮川地区	4名
9月17日	金沢霞	一宮町金沢地区	22名
10月13日	賀茂霞	豊川市三上地区 豊橋市石巻地区	7名



平成16年5月25日 提供:東海日日新聞

河道改修及び河川環境の整備と保全(1)

河川工事

- ・平成14年度から学識者等による樹木管理検討会を開催し、河道改修による樹木や生態系への影響を最小限とするための指導・助言を頂き、改修を実施している。
- ・大村地区では、生態系や景観等に配慮し、段階的掘削及び伐採を行った。
- ・掘削後の植生状況等についてモニタリングを実施し、今後の改修の参考としていく。



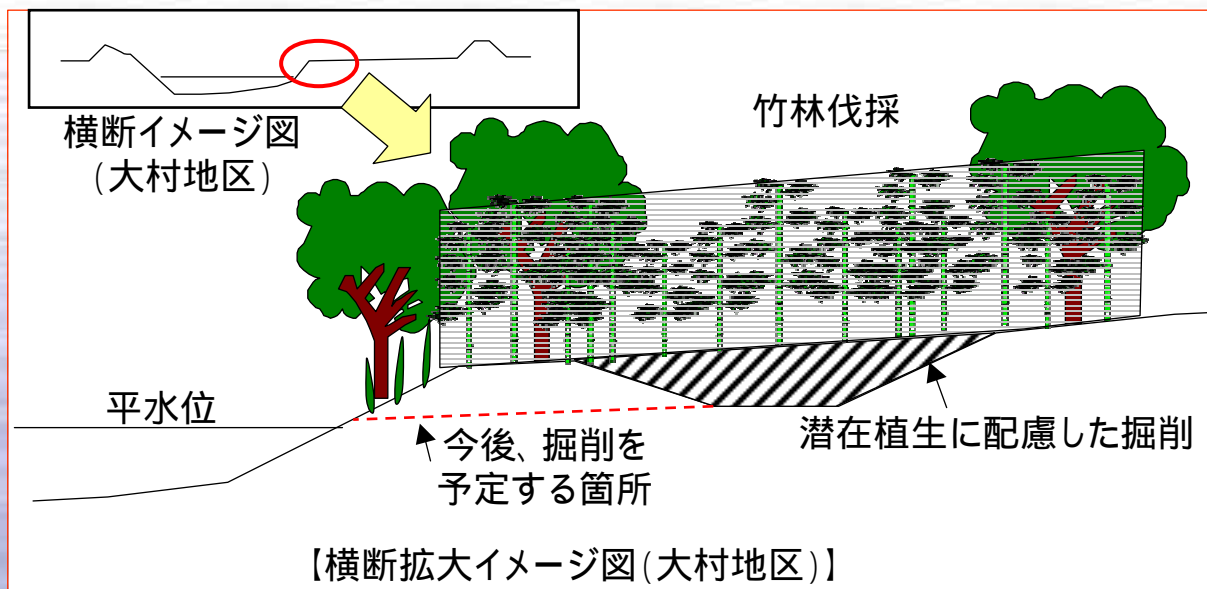
掘削直後の状況 H15.3



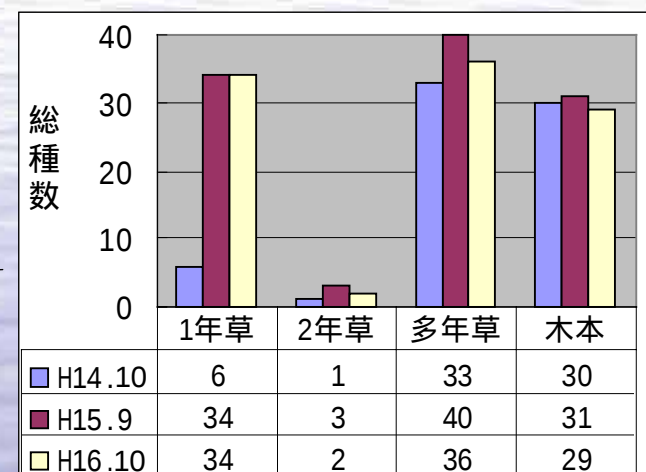
掘削から7ヶ月後 H15.10

樹木管理検討会における学識者

河川: 中村 俊六 (豊橋技科大学名誉教授)
生態: 寺本 和子 (豊橋創造短期大学教授)
植生: 中西 正 (豊橋市立高校教諭)



掘削後の植生についてモニタリング



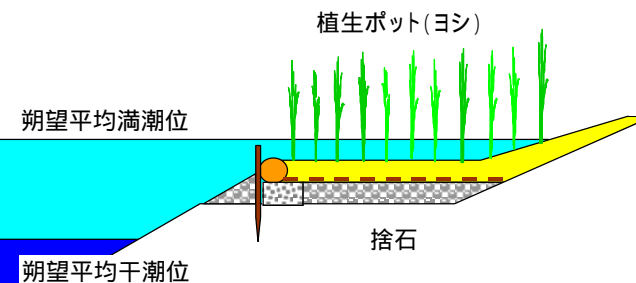
河道改修及び河川環境の整備と保全(2)

河川工事

- ・人工河川である放水路での良好な河川環境の形成を目指し、ヨシ活着確認のため、ヨシ移植の試験施工を実施している。
- ・今後も良好な河川環境の保全・創出のため、調査・検討を行っていく。

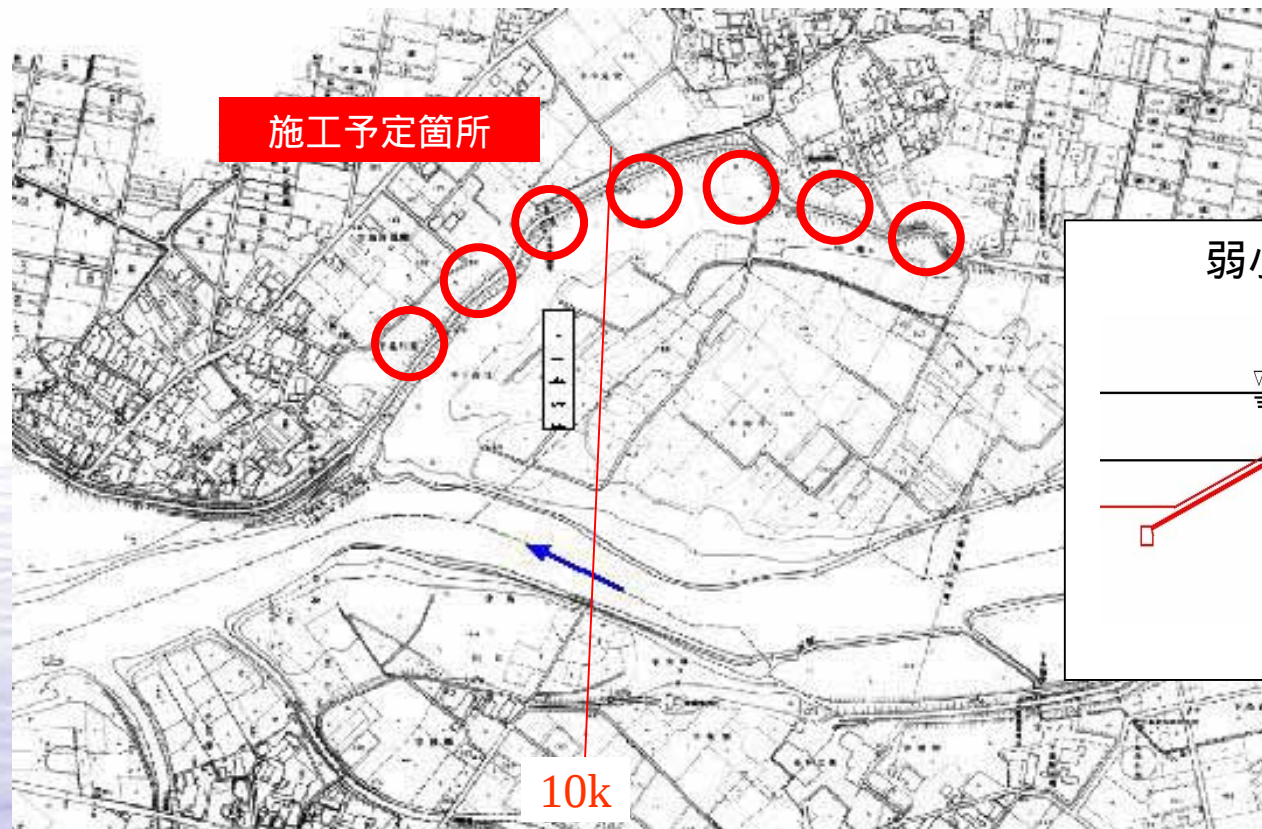


整備イメージ

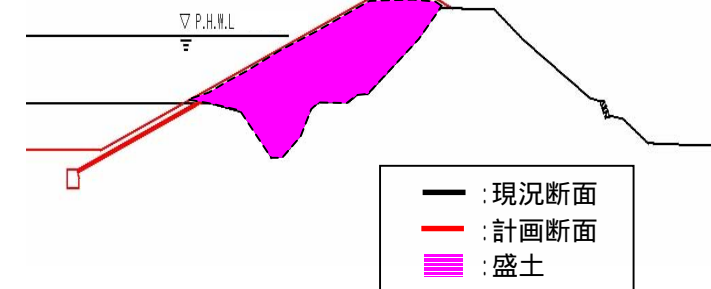


堤防補強(豊橋市大村地区)

大村地区の弱小堤対策実施に向け、築堤等の詳細設計に着手した。

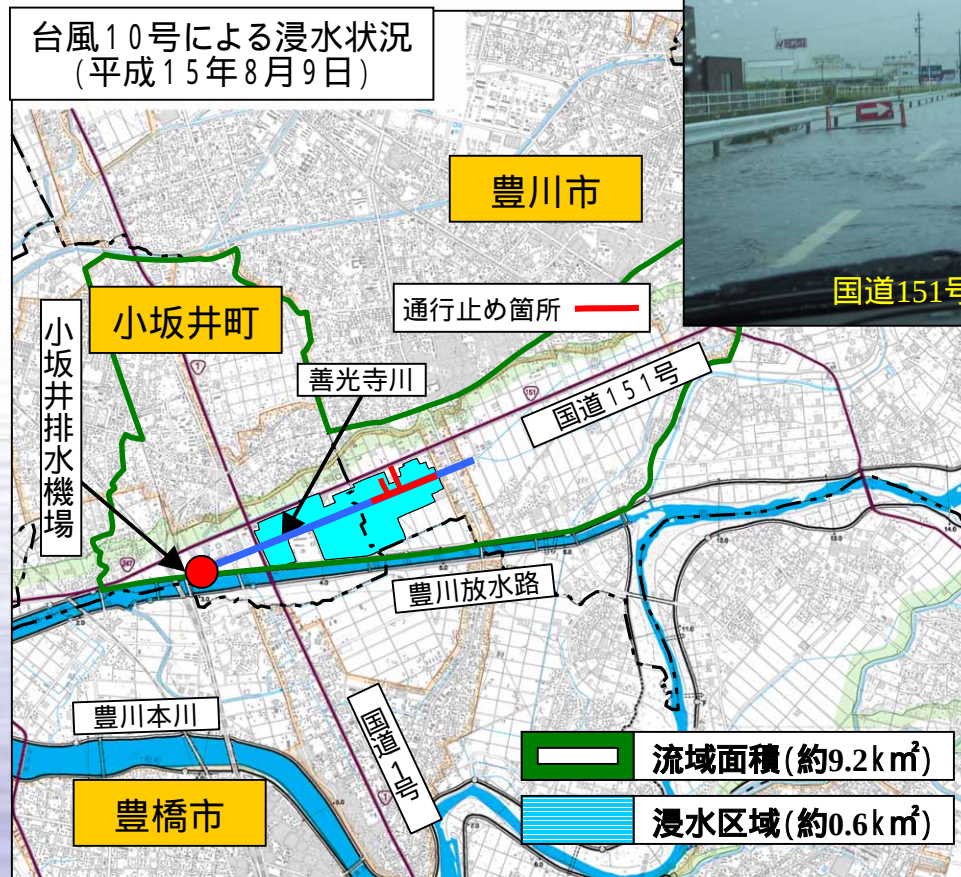


弱小堤対策の施工イメージ



内水対策(小坂井地区)

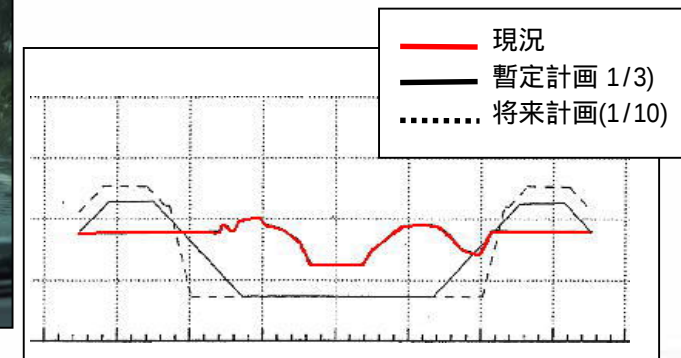
- ・平成14年度に小坂井地区(豊川市、小坂井町)の内水浸水発生原因及び処理方策調査・検討を実施した。
- ・内水地区内河川である善光寺川の流下能力の不足により、浸水が発生している。



浸水の状況



善光寺川標準横断面図(国道一号より上流)



愛知県計画による



小坂井排水機場は、定期的に点検や機器更新を実施し、機能維持に努めている。しかし、築39年を経過し老朽化が著しいため、今後、改築が必要である。

耐震対策(清須地区)

河川工事

・緊急度の高い区間について堤防耐震対策(基礎地盤の液状化対策)を実施している。



この一年の経緯



推進協定締結調印式

平成15年10月 愛知県知事立ち会いのもと、「設楽ダム建設事業の推進に関する協定書」を中部地方整備局と設楽町長の間で締結

「第1回 設楽ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会」を開催

平成15年12月 生活再建意向調査(アンケート)実施

建物等物件調査に着手

平成16年 5月 「第2回 設楽ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会」を開催

付替道路路線測量に着手(小松、長江)、付替道路地形測量に着手(田口、川向)

平成16年 9月 付替道路路線測量に着手(八橋)

平成16年11月 「豊川水系設楽ダム建設事業環境影響評価方法書」の公告縦覧を開始

設楽ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会について

技術検討委員会は、環境影響評価を実施するにあたり対象事業の事業特性及び地域特性を踏まえ、最新の科学的知見に基づく適切な環境影響評価を実施するための技術的助言を行うものとする。

豊川水系設楽ダム建設事業 環境影響評価技術検討委員会

1. 開催日時 (第1回) 平成15年10月23日(木) 13:00～15:00
(第2回) 平成16年 5月31日(月) 14:00～17:00
2. 開催場所 (第1回) 名古屋通信会館 3階「桐の間」
(第2回) K K R ホテル名古屋 3階「蘭の間」
3. 出席者

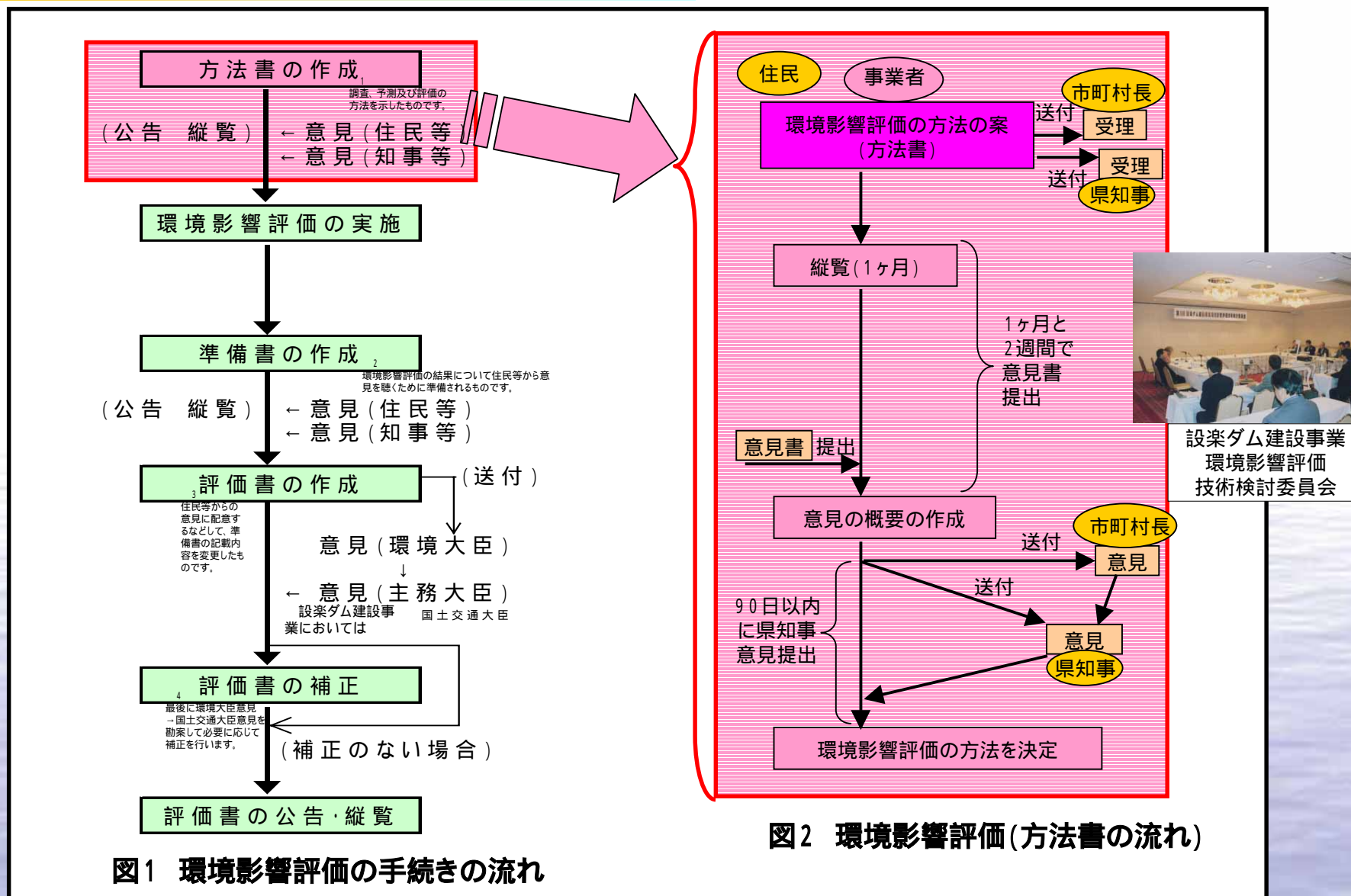
氏 名	現 職	専門分野	備 考
佐藤 正孝	名古屋女子大学 名誉教授	昆虫類	委員長
小笠原 昭夫	名古屋学芸大学 非常勤講師	鳥類	
西條 好迪	岐阜大学 助教授	植物類	
田中 正明	四日市大学 教授	藻類	
前田 喜四雄	奈良教育大学 教授	ほ乳類	
松尾 直規	中部大学 教授	水質	
森 誠一	岐阜経済大学 教授	魚類	



環境影響評価手続きの流れ

河川工事

環境影響評価の手続きと方法書の位置づけ



設楽ダム建設事業に係る環境影響評価方法書公告縦覧

方法書の縦覧場所

- ・ 中部地方整備局総務部総務課（情報公開室）
- ・ 設楽ダム工事事務所
- ・ 豊橋河川事務所
- ・ 設楽町役場
- ・ 津具村役場
- ・ 鳳来町役場

方法書の縦覧期間

平成 1 6 年 1 1 月 2 4 日（水）～ 1 2 月 2 4 日（金）
（土曜日、日曜日、祝日を除く）

方法書の縦覧時間

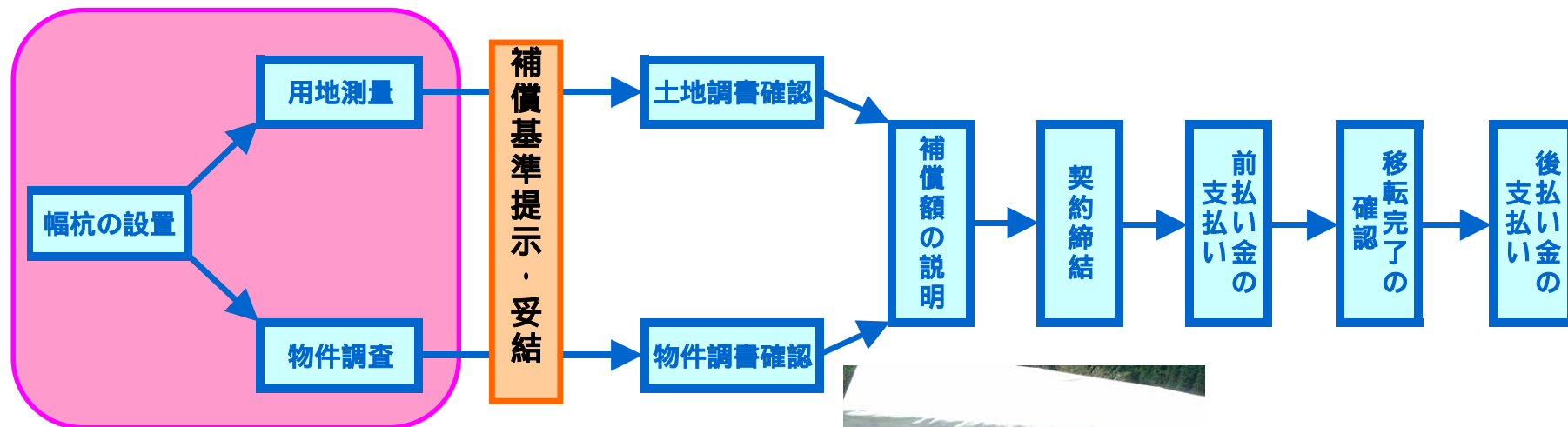
午前 8 時 3 0 分から午後 5 時まで（正午から午後 1 時を除く）但し、中部地方整備局総務部総務課（情報公開室）においては午前 9 時 3 0 分から午後 5 時まで。
（正午から午後 1 時を除く）

設楽ダムの用地調査・生活再建対策等

河川工事

設楽ダム建設事業に必要な用地の調査(用地測量及び物件調査)と水没移転者等の生活再建に関する調査を継続実施中。

用地調査



現在実施中

生活再建対策

生活再建意向調査(アンケート)

生活再建地計画の検討

地区別個人生活相談会



立会前説明



立会状況

基本計画作成までの流れ

河川工事



ダムサイト地質調査



付替道路測量

現在実施中



環境調査

・騒音・振動調査
・動植物調査
・生態系調査等

環境に優しいダムづくり

・環境影響評価を実施します。

・地形調査
・地形測量
・地質調査等

丈夫なダムづくり

・耐久性のある安全なダムを設計します。

・雨量観測
・水位観測
・流量観測
・水質観測等

役立つダムづくり

・洪水調節・水の利用計画を決めます。

以下の検討・設計等
・ダム堤体
・基礎処理
・工事用設備(プラントなど)
・付替道路

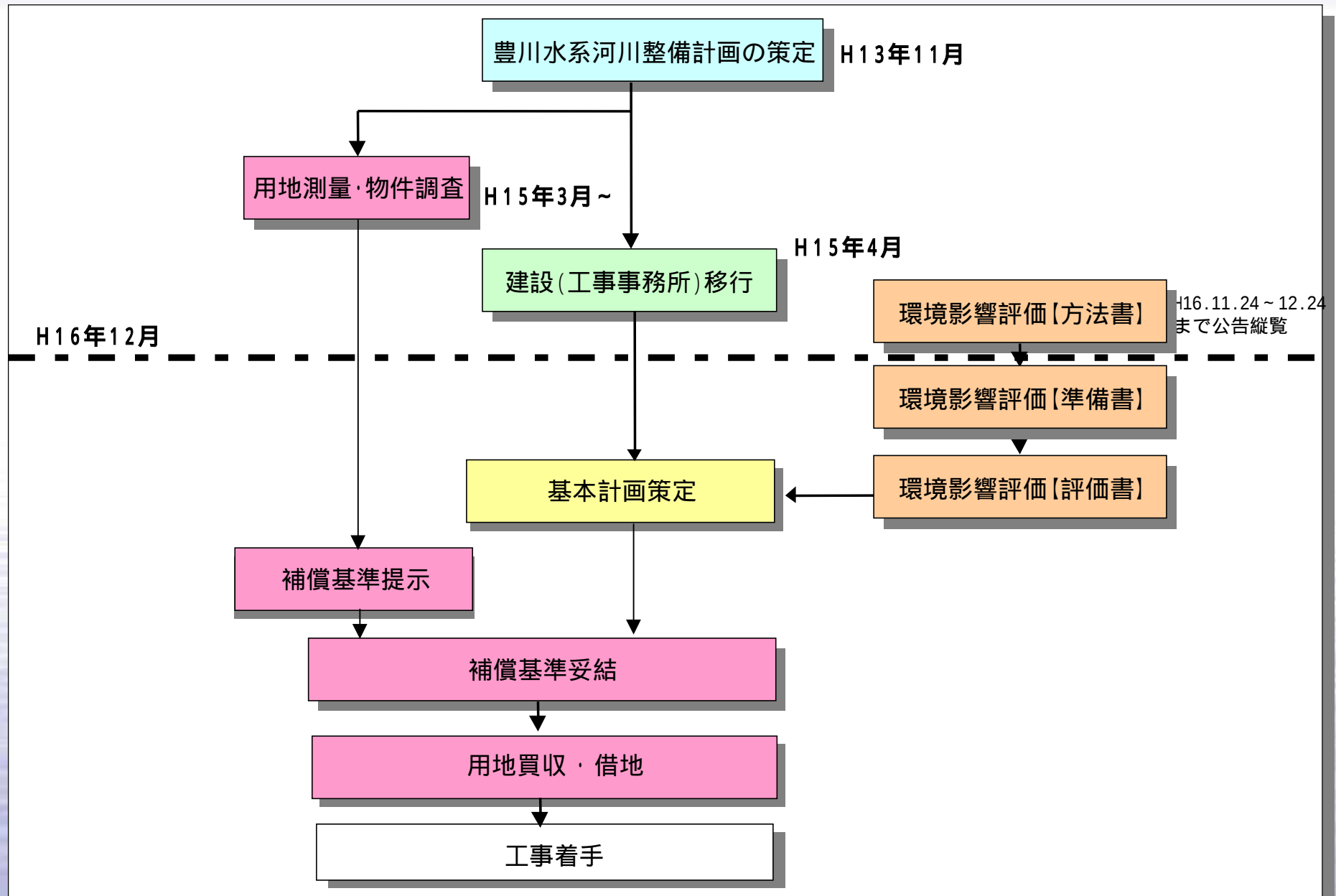
・必要工期確定
・事業費算定など

基本計画の公示

関係行政機関協議
↓
県議会議決
↓
知事意見等
↓

設楽ダムの今後の流れ

河川工事



河川維持

- ・ 平常時の管理
- ・ 危機管理体制
- ・ 河川情報システムの整備
- ・ 豊川流況改善事業
- ・ 水質事故への対応

平常時の管理(1)

- ・通常の河川巡視に加え、出水時における巡視、また、テロ対策のための特別巡視も行っている。
- ・豊川における整備状況や環境、河川利用等の特性を踏まえた、より適切な巡視を行うため「河川の特性を配慮した新しい巡視要領」を今年度内に策定する予定である。



通常巡視



夜間の河川巡視



出水時巡視(台風23号)



テロ対策巡視(国1橋梁)

平常時の管理(2)

河川維持

今年の台風6号や23号による出水で大量の流木が河岸等に漂着した。今年度中に処理する予定。



新城市豊島



一宮町東上



一宮町松原

老朽化や損傷した護岸等を補修するなど、河川管理施設の保全に努めている。

補修前



放水路川裏護岸補修状況

平場の状況

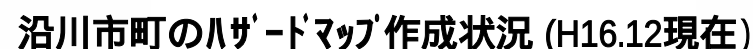


補修後



河川維持

豊川水系豊川浸水想定区域図(平成14年2月27日公表)



市町名	作成時期
豊 橋 市	平成14年12月
小坂井町	平成14年12月
一 宮 町	平成15年 1月
豊 川 市	平成15年 3月
新 城 市	来年度策定予定

市町村が作成した防災マップを含む

河川増水、土砂災害の恐れ

豊橋の631世帯に避難勧告

[illegible]

平成16年10月10日(日) 提供:東愛知新聞

20

河川情報システムの整備

河川維持

川はふるさと 水はいのち
豊川 矢作川

豊川・矢作川の改修・管理・環境設備・豊川流況改善施設の維持・管理・流水管理
ならびに上矢作ダム調査を担当しています。

Contents

事務所紹介
KAWAKKO資料館

とよかわ
やはぎわ日記

きつといっぱい発見がありますよ
探検マップ
観察ノート

豊川流域圏一体化への取り組み
皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。

河川の状況がリアルタイムにわかる。
河川ライブカメラ

豊川・矢作川
おとレポート

水害は
忘れた頃にやってくる
浸水想定区域図

写真を募集し
「とよかわやはぎわ
流域圏カレンダー」に
掲載します。

CCTV画像を豊橋河川事務所HPでH16.3.30から公開し
一般の方々へも提供。

トップページへ 豊橋河川事務所HPへ ヘルプ

画像選択

下条橋 大村橋門 豊橋市役
所屋上

牛川橋 JR豊川
橋



豊川・矢作川を見よう！

新城橋付近 カメラ時刻 2004/12/01 10:04
画像選択ページへ

石田の水位概況 12/1 10:00現在

左岸 現在水位 -0.23m 右岸

危険水位 7.50m 計画高水位 8.130m
警戒水位 4.70m 出動水位 4.70m
干渉水位 -0.18m 備置水位 2.40m

日時	水位
12/1 5:00	-0.23
12/1 6:00	-0.23
12/1 7:00	-0.23
12/1 8:00	-0.23
12/1 9:00	-0.23
12/1 10:00	-0.23

10分間隔表示に切り替え

接続カメラ映像選択

牛測橋 牟呂松原頭首工上

豊川流況改善事業

豊川流況総合改善事業で平成14年度に完成した寒狭川頭首工及び寒狭川導水路の維持・管理を行うとともに、豊川水系の河川流水の総合的な運用を図っている。



大野頭首工下流の改善効果

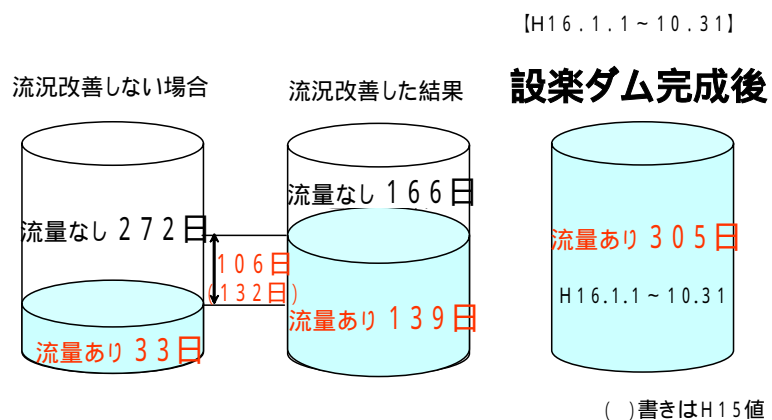


流況改善前



流況改善後〔1.3m³/s〕

平成16年の流況改善の効果

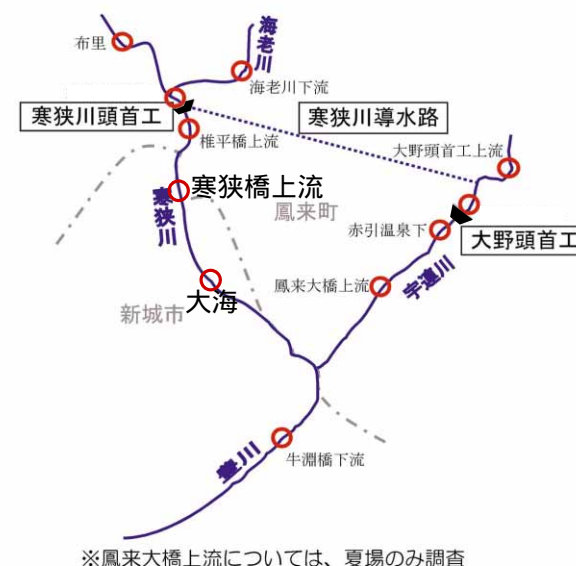
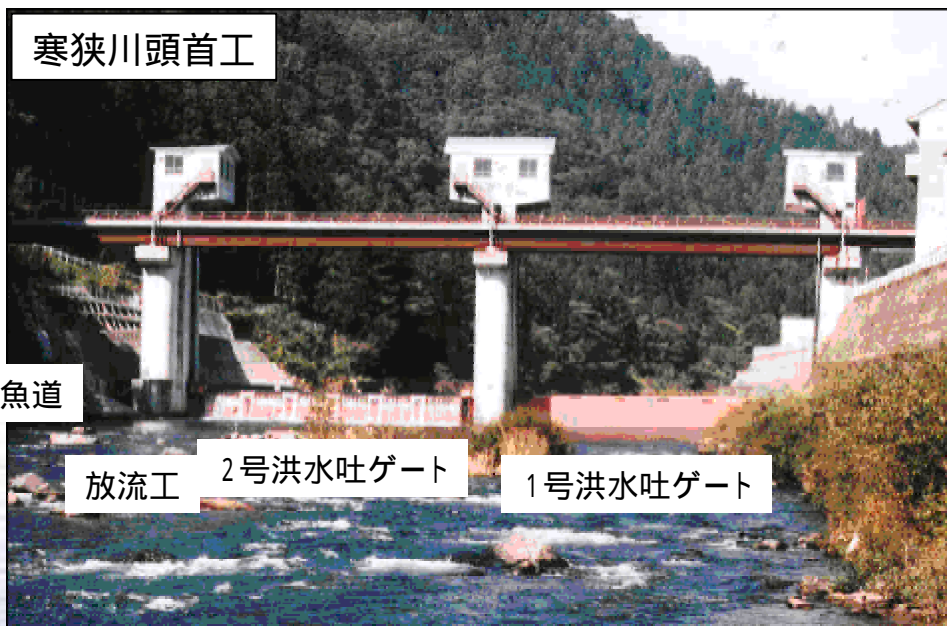


H16.10末現在

豊川流況総合改善事業に関する 環境モニタリング調査

河川維持

管理に移行した豊川流況総合改善事業については、周辺環境の変化等を分析・評価するため、H15年度より概ね5ヶ年(4サイクル)の予定でモニタリング調査を実施中である。



環境モニタリング調査計画(予定)

調査実施時期	H15	H16	H17	H18	H19	備考
調査実施項目						
底生動物	秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏	年4回実施中
魚介類	秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏	"
付着藻類	秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏	"
動物・植物プランクトン	秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏秋冬	春夏	"
水質調査	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	月1回実施中(生活環境項目、富栄養化)

水質事故への対応

河川維持

- ・豊川水系での水質事故は平成13年度4件、平成14年度7件、15年度は14件、平成16年度は現在までに3件発生している。
- ・豊橋河川事務所は水質汚濁対策連絡協議会の事務局として、水質事故に迅速に対応するため、現地訓練を行ったり連絡体制強化を図っている。
- ・平成15年4月より、水質事故状況を豊橋河川事務所ホームページで公開し、住民への情報提供に努めている。

平成16年度水質事故状況

発生 月日	発見 時刻	発生 場所	状況	原因等	対策ほか
5/10	16時頃	豊川 (野田川)	エンジンオイル流出 (約28㍓)	交通事故によりトラックのエンジンオイルの一部が野田川に流出	・道路側溝、集水桝で大半を回収、野田川に吸着マット、オイルフェンスを設置 ・牟呂松原頭首工常時設置のオイルフェンスに吸着マットを設置
5/26	28日	豊川 (半場川)	廃天ぷら油 (約10㍓)	26日午後7時頃豆腐店が廃天ぷら油約10㍓を誤ってこぼし、道路側溝から半場川に流出	・新城市が半場川に吸着マットを設置
10/8	9時頃	豊川 (牟呂用水)	軽油 (10～20㍓)	トラックの横転により、燃料の軽油が牟呂用水排水路を伝わり豊川へ流出	・水機構が牟呂用水排水路と豊川への排水口付近に吸着マットを設置



「牟呂松原用水で油流入における対応状況」
車の横転による燃料の流出事故

その他の事項

- ・ 調査研究等の推進
- ・ 河川情報の公開・提供の促進
- ・ 河川の協働管理
- ・ 安全な河川敷地利用のための検討会
- ・ 刈草の有効利用

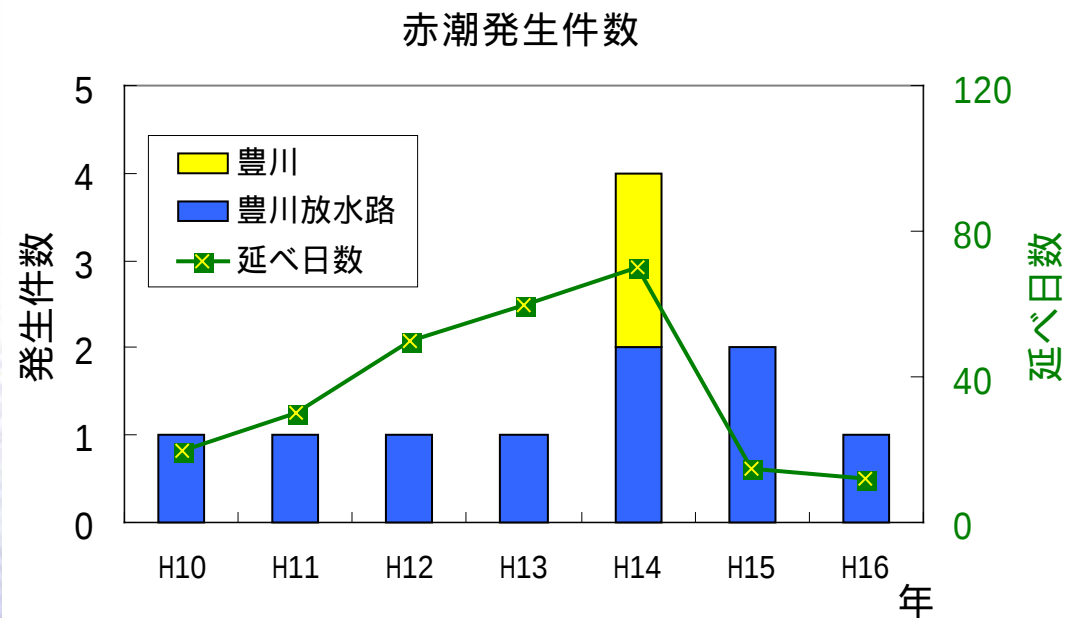
調査研究等の推進(1)

その他の事項

- ・豊川及び豊川放水路での赤潮は、平成10～13年で各1回、14年4回、15年2回、16年は現在までに1回発生している。
- ・赤潮発生によって魚介類や景観等に影響を及ぼす恐れがあることから、赤潮発生要因についての調査・研究を行っている。



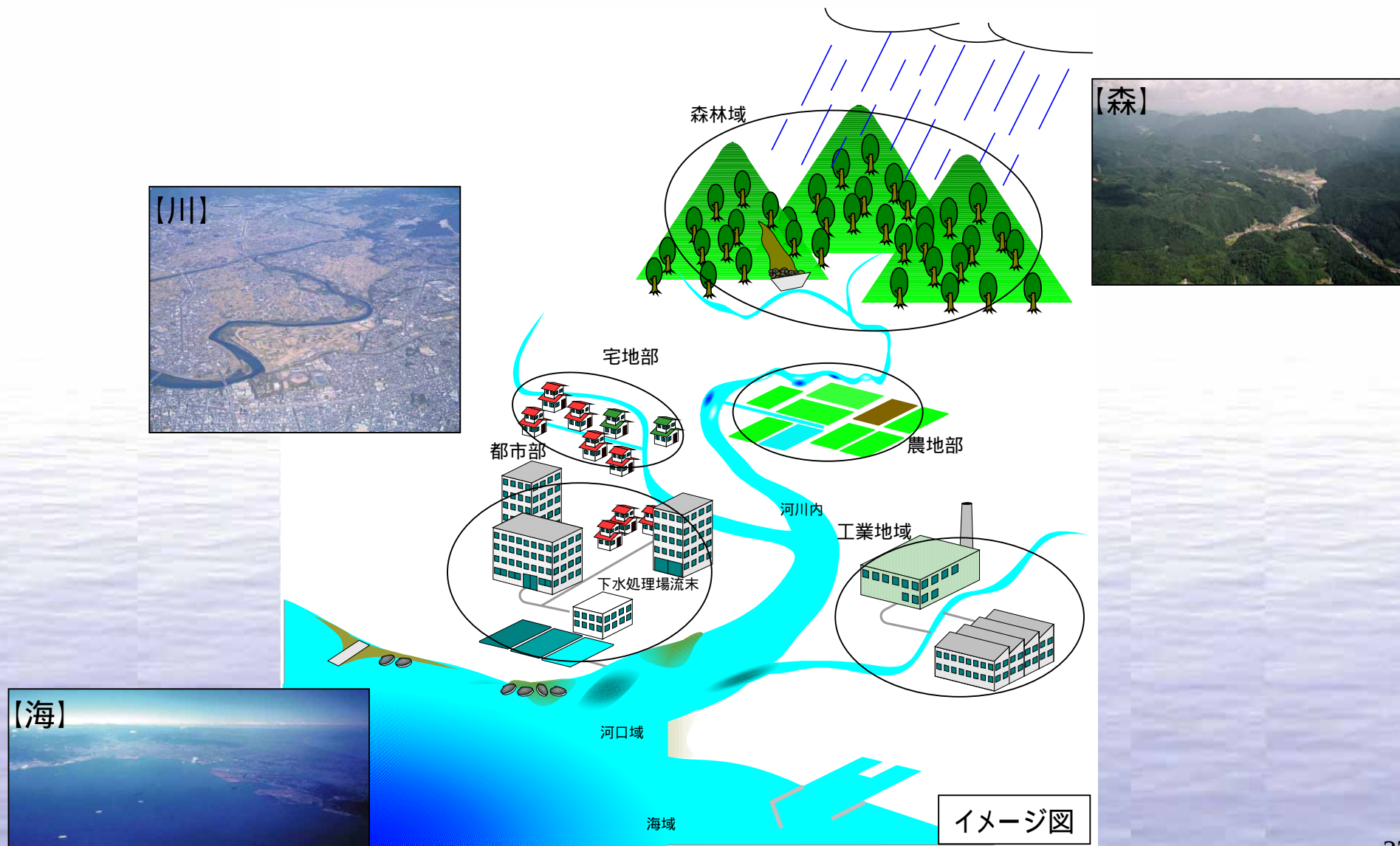
豊川橋梁(JR東海道本線)右岸の赤潮発生の状況



調査研究等の推進(2)

その他の事項

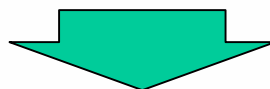
栄養塩類に着目した森・川・海の土砂移動について、調査を実施する予定。



河川情報の公開・提供の促進(1) -1

その他の事項

豊川について広く情報提供し、情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど双方向コミュニケーションを推進する。



- ・豊川KAWAKKO資料館での情報提供とコミュニケーションの促進
- ・アクアフェスタ等イベントでの広報と対話
- ・ホームページでの情報提供と意見収集
- ・愛知万博地域関連事業への参加



豊川KAWAKKO資料館
来場者数:約5,100人
(H15.12.1～H16.11.30)



アクアフェスタ2004
場所:豊橋市上下水道局
来場者数:約3,000人
(H16.7.25)



豊橋河川事務所ホームページ
アクセス数:約79,000
(H16.12.1現在)

河川情報の公開・提供の促進(1) - 2

その他の事項

アクアフェスタ2004 H16.7.25

「水」にふれ親み、「水の大切さ・水質浄化・三河湾浄化」について、住民に考えてもらうことを目的に、国土交通省豊橋河川事務所・三河港湾事務所、豊橋市が主催して実施している。



豊川クイズ



豊川で遊ぼう



あめふり体験機

「豊川KAWAKKO資料館」を利用した教室形式の催し

目的：地域の皆さんとの交流を深め、豊川の情報発信基地としての「豊川KAWAKKO資料館」の利用促進を図る



「竹細工教室」 H16.7.3



「夏休みかわっこ教室(水生生物教室)」 H16.8.11



河川情報の公開・提供の促進(2)

その他の事項

平成17年度 愛知万博地域関連事業

イベント名	イベントの概要	主催	イベントに対する 事務所の関わり	開催予定 時期	開催場所
アクアフェスタ	豊川流域サマーフェスティバルの一環として水に関するイベントを開催	国土交通省（三河港湾・豊橋河川）・豊橋市	共催	H17.7.31	豊橋市役所
国際森林環境 フォーラム	過去2回開催してきた「国際環境シンポジウム」のまとめ等	穂の国森林祭2005 実行委員会	調整中	H17.8.25	新城文化会館



河川の協働管理

その他の事項

平成14年度より、河川愛護・三河湾浄化を目指して「川と海のクリーン大作戦」を地域の住民と一緒に実施している。

今年は「やろまいか 郷土の川や海岸をみんなでクリーンアップ」をスローガンに実施し、豊川水系では3,212人の参加。(三河地区の参加者:H14約8,700人、H15約7,900人、H16約8,400人)



設楽町



一宮町



新城市



豊川市



豊橋市



豊川水系実施一覧

組織名	集合場所	開催日	開催期間	参加人数
豊橋市役所	豊橋創造大学付近 豊川左岸河川敷	10/24(日)	9:00 ~	242
豊川市役所	豊川三上緑地	10/24(日)	8:00 ~ 9:00	114
	豊川放水路管理棟	"	"	
一宮町役場	いこいの広場(メイン)	10/24(日)	10:00 ~ 12:00	122
	東上河川敷グランド	"	"	41
	金沢橋左岸側グランド	"	"	41
	一宮南部小前堤防	"	"	21
設楽町役場	清嶺第2八雲苑前広場	10/24(日)	8:00 ~ 10:00	14
新城市役所	豊島河川敷広場	10/24(日)	9:00 ~ 10:00	1,225
	桜洲公園木かげプラザ	"	"	
特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラム	東陽地区市民館グラウンド	11/27(土)	9:30 ~ 12:00	575
NPO法人 佐奈川の会	中部小学校前佐奈川河川敷	10/10(日)	9:15 ~ 11:50	50
	金屋中学校前佐奈川河川敷	"	"	70
	であい橋	"	"	30
田原市立若戸小学校	田原市池尻町池尻海岸	10/2(土)	8:30 ~ 10:30	180
渥美海洋少年団	太平洋ロングビーチ	11/14(日)	9:30 ~ 11:00	321
国土交通省 三河港湾事務所(亀の子隊)	渥美町西の浜	10/17(日)	10:00 ~ 11:00	166
合計				3,212

亀の子隊(渥美町西の浜)



安全な河川敷地利用のための検討会

その他の事項

河川敷地の利用が増加する中、平成11年8月には神奈川県の玄倉川でキャンパーが流され13人が死亡し、また平成16年5月には静岡県得天竜川でモトクロス大会参加の車両が中洲に取り残される等、各地で水難事故が発生している。

豊川水系でも河川敷地利用者の安全を確保するため河川管理者、ダム・堰等管理者を始めとし警察、消防、漁協等で構成する連絡会を来シーズンまでに発足する準備をしている。

チラシを河川利用者に配布

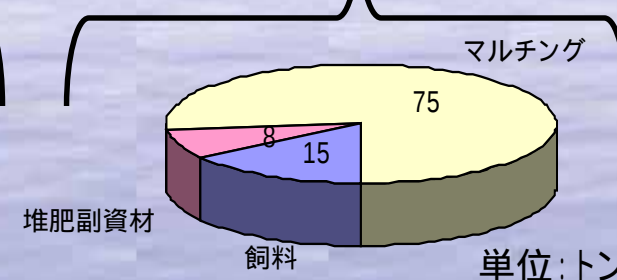
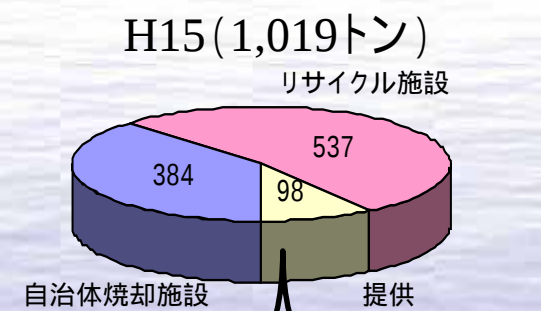
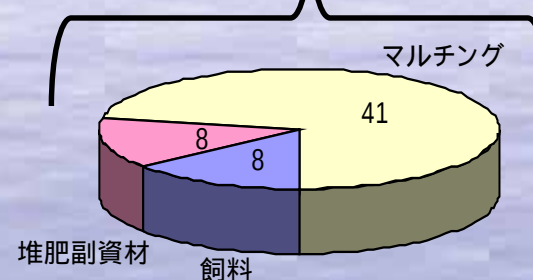
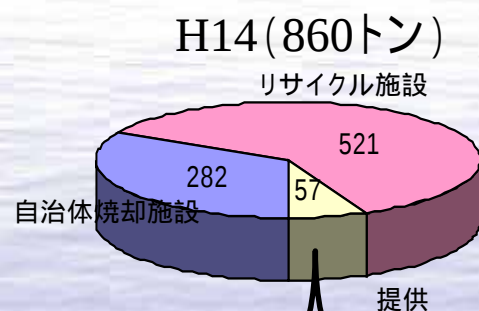
河川の利用状況(夏)



刈草の有効利用

その他の事項

- ・堤防異常の有無を早期に発見するなどの目的で除草を行っているが、除草後の刈草処理費用等が問題となっていることから、刈草の有効利用を行っている。
- ・平成15年度除草工事で、刈草発生量1,019トンの内約10%、98トンについて農家等で利用があった。
- ・今後の利用拡大を図るため、沿川の国、県、市町、農協による「東三河刈草等バイオマス利用推進連絡会」(平成15年9月19日に発足)にてパンフレットを作成し、広報を行っている。



単位:トン

流域圏一体化

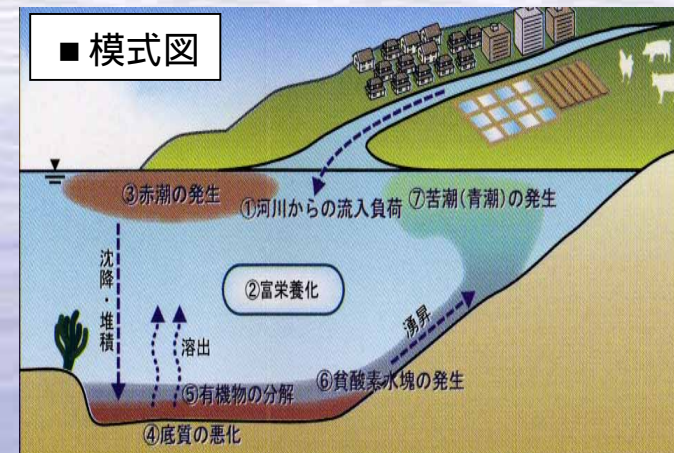
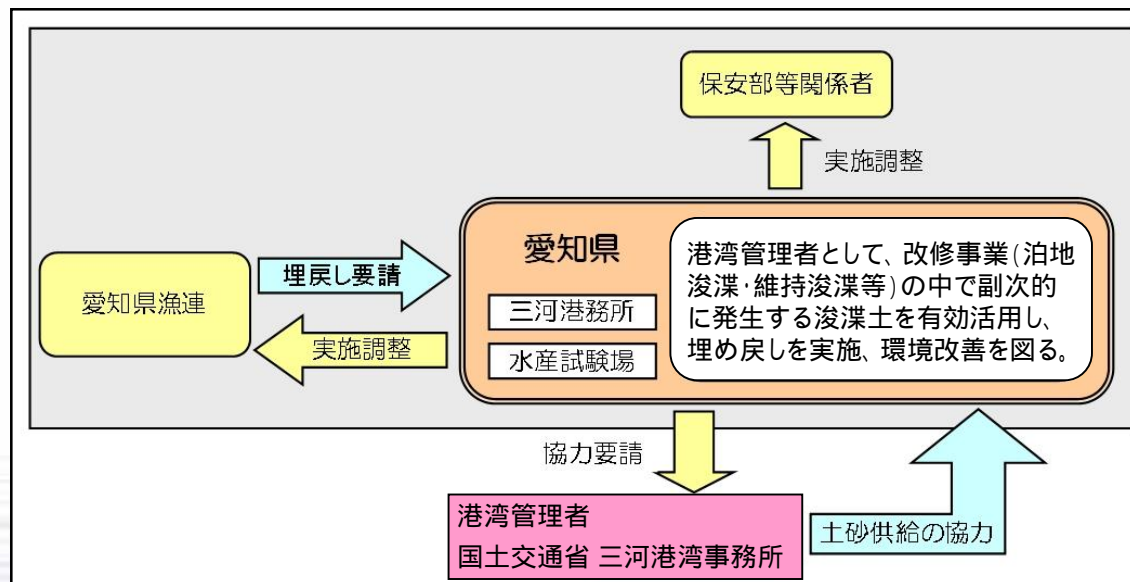
- ・ 関係機関・地域住民との連携（１）
- ・ 関係機関・地域住民との連携（２）
- ・ 関係機関・地域住民との連携（３）
- ・ 関係機関・地域住民との連携（４）
- ・ 関係機関・地域住民との連携（５）
- ・ 関係機関・地域住民との連携（６）
- ・ 関係機関・地域住民との連携（７）

関係機関・地域住民との連携 (1)

流域圏一体化

三河湾浄化対策

関係機関との連絡調整を図り、浚渫土の土砂供給の協力など、三河湾の浄化対策がなされるよう努めている。



関係機関・地域住民との連携 (2)

流域圏一体化

水生生物調査 平成16年7月～8月

夏休み期間中に小中学14校の児童・生徒延べ約210人が参加し、豊川と豊川放水路の7地点で水生生物による簡易水質判定を実施した。

このうちの7小学校が、平成16年11月13日の「とよがわ流域圏こども会議」で調査結果を発表した。



今年度初めて参加した作手村立協和小学校による鳳来町布里地点での調査状況



豊川市立東部小学校による
豊橋市当古地点での調査状況



関係機関・地域住民との連携 (3)

流域圏一体化

平成16年「とよがわ流域圏こども会議」 平成16年11月13日

豊川の水に関係する上流、中流、下流の小学生が、水生生物調査や、川や水に関係した試みや取り組みを通じて、豊川を知り、考え、そして良くしていこうとする意識醸成のために、豊川流域圏のみんながいっしょになって考えていく場として、平成14年度から開催され、今年で3回目。

国土交通省豊橋河川事務所・設楽ダム工事事務所・三河港湾事務所、東三河地域研究センター主催。

平成16年は、7校(ビデオ参加1校)の児童が発表し、約110名の参加者と来場者が集まった。また、実施に際しては、森・川・海に関わるNPOからの協力を受けた。



新城文化会館 3階 大会議室

とよがわ流域圏こども会議

私たちが生活する上で欠かせない「とよがわの水」！
「とよがわ」に棲む水生生物を調査して、水のきれいさを確認しました。
とよがわの流域圏に住む子どもたちによって、
調査結果や日頃から川や水について取り組んでいることを、
発表したり意見交換する会話が期待されます。

平成16年
11月13日土
12:30～14:30

新城文化会館
3階 大会議室
愛知県新城市字下川1-1
(新城市役所のむかい)

会場会場
開催地点

参加校校
鳳来西小学校
作本村立
細和小学校
新城市立
泊瀬小学校
一宮市立
一宮東部
小学校
新城市立
東部小学校
天王小学校
豊橋市立
高丘小学校

案内図

11月13日(土)は、上記会場にて、どなたでも
自由に入場できます。
また、会場終了後にこども会議の様子を、下記
ホームページで、動画でご覧いただけます。
ホームページは、新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>
新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>
新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>

豊川流域圏一体化への取組

お問い合わせは、新城文化会館まで
TEL: 053-2140-1107 FAX: 053-2140-1100
Eメール: shinjo@shinjo-city.jp
新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>
新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>
新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>

【とよがわ流域圏こども会議】に入会しませんか。
「とよがわ流域圏こども会議」は、とよがわの流域圏に
住む子どもたちによって、調査結果や日頃から川や水
について取り組んでいることを、発表したり意見交換する
会話が期待されます。新城文化会館のホームページ
URL: <http://www.shinjo-city.jp/shinjo/>

関係機関・地域住民との連携 (4)

流域圏一体化

第3回「川と緑の交流コンサート」 平成16年10月31日

豊川水系で結ばれる地域を中心に、上下流交流や森をはじめ環境を大切にする心を育むことを目的に開催。

川と緑の交流コンサート実行委員会(豊川水源基金、穂の国森林祭2005実行委員会、豊橋文化振興財団、国土交通省、つくでの森の音楽祭実行委員会豊橋交響楽団)主催。

約600名の参加者と観客でほぼ満員となった。



作手村立開成小学校 体育館



関係機関・地域住民との連携（5）

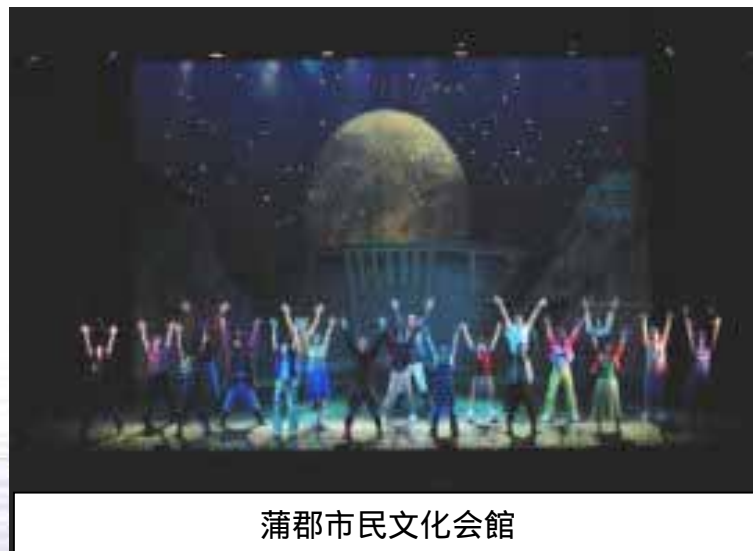
流域圏一体化

ミュージカル・リバーヘッド 平成16年7月19日

水の大切さ、水と山を守る森の役割などを明るく元気に訴えるミュージカル。約900名の観客でほぼ満席となった。

＜主催＞とよがわミュージカル実行委員会((財)豊川水源基金、穂の国 森づくりの会 穂の国森林祭2005実行委員会、国土交通省)、がまごおり市民音楽祭主催

＜後援＞蒲郡市、蒲郡市教育委員会



蒲郡市民文化会館



会場外パネル展示コーナーの様子

関係機関・地域住民との連携 (6)

流域圏一体化

とよがわ流域圏カレンダー

「とよがわ流域圏」で行われているお祭りやイベント等の取り組みを住民に知ってもらい、水の繋がりのある流域圏内の交流を図ることを目的に作成。



とよがわ流域圏倶楽部 メールマガジン

とよがわ流域圏に愛着を持つ方々の集まり(平成16年11月現在、109名)。入会すると、希望により、無料でメールマガジンを配信。平成16年5月から11月末までに16通配信。



関係機関・地域住民との連携 (7)

流域圏一体化

【 目的・内容 】

「豊川流域圏一体化への取り組み」について、学識者、関係機関及びNPOの意見を踏まえた中間とりまとめ結果 に対する意見聴取のため、平成16年7月～8月にかけて、豊川流域圏を構成する全市町村(18市町村の企画・河川担当部局 合計36通)に対してアンケート調査を実施。

【 回収数等 】

- 回収数16市町村、22部局

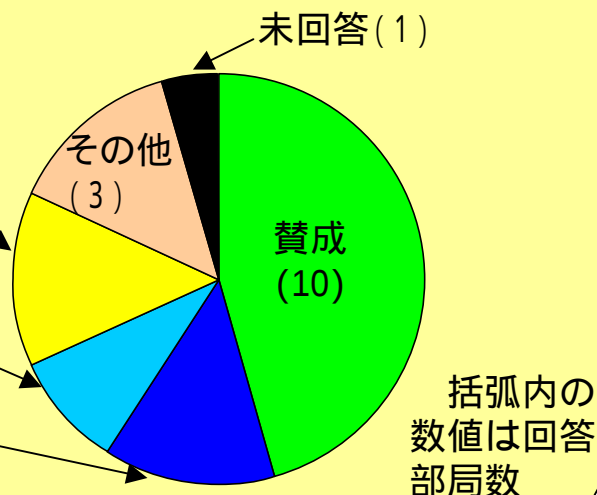
中間とりまとめは、国土交通省が設置した「豊川流域圏一体化検討準備会」(座長:愛知大学 藤田佳久教授)において、平成14年3月～平成15年2月まで11回開催された会議においてとりまとめられたものである。

【新規組織の立ち上げについて】

既存組織との役割分野の明確化が必要(3)

既存組織で対応できる(2)

組織づくりの必要性やその有効性の検討が必要(3)



「豊川流域圏一体化の今後の取り組み」は、とよがわ流域圏の抱える課題についての情報の共有化を図る情報発信や、課題の解決を図るための組織づくりが必要との中間とりまとめをしました。

情報の共有化を図る情報発信が必要
既に行っているイベント等の他、実施可能な啓発普及活動、教育活動、意識活動等を行うとともに、とよがわ流域圏の抱える課題の情報交換・共有化、情報発信を積極的に行う。

課題解決に向けた取り組みや組織づくりが必要

有識者からの聞き取り等をもとに、とよがわ流域圏の抱える課題を集約したところ、以下の3つの課題に大きく集約される。この3つの課題解決を図るため、右記に示す提案・提言を目標とする。

とよがわ流域圏の3つの課題

- 上流域の森林保全
- 三河湾浄化
- とよがわを軸とする流域圏における関係機関・地域住民との連携

組織づくり

とよがわ流域圏が抱える諸課題を解決するためには、新たに、産・官・学・民で構成される組織を立ち上げ、流域圏一体化の取り組みを検討・実施していくことが必要である。

流域圏一体化のための組織の機能には、次の3つの機能が必要。
● 行政間、住民等との連携・調整
● NPOとの協働・連携
● 課題の学術的研究

分野毎の専門的な検討

より深い検討を進めるため、課題となる「上流域の森林保全」、「三河湾浄化」、「とよがわを軸とする流域圏における関係機関・地域住民との連携」の3つの分野毎に専門的な検討を行うことが望ましい。例えば、右図に示した課題毎に専門的に検討する「森林部会」(仮称)、「三河湾部会」(仮称)、「とよがわ部会」(仮称)の3部会を設け、3部会の連携、調整を図る幹事会で構成される枠組みが考えられる。

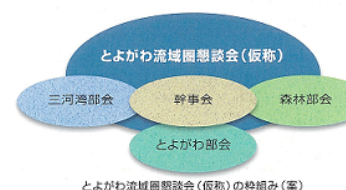
課題解決のために提案・提言する項目

とよがわ流域圏の現状と課題並びに解決の方向性や啓発教育普及活動を踏まえ、

市民、各種団体、行政等の合意形成による豊川流域圏一体化を図るための基本指針、課題解決に関わる具体的な行動指針、行動計画

上記に基づく行政間、住民等との連携・調整、NPOとの協働・連携、課題の学術的研究の3つの機能を踏まえた現実的な流域圏の組織づくり

豊川流域圏一体化に資する活動を行う東三河地方拠点都市地域整備協議会や(財)豊川水源基金等の既存組織の事務を蓄める愛知県や流域圏市町村(細西市を含む18市町村)及び各種団体(経済団体、NPO、市民団体)の代表者で構成されるメンバーにより、とよがわ流域圏懇談会(仮称)の設置と、流域圏一体化の検討等を段階的・弾力的に進める。



中間とりまとめの詳細は、下記ホームページのコンテンツ「豊川流域圏一体化への取り組み」にてご覧いただけます。また、この中間とりまとめに対するご意見については、住所・氏名・職業・電話番号を明記の上、下記宛先に、郵送、ファックス又は、ホームページのコンテンツ「豊川流域圏一体化への取り組み」にアクセスしていただき投稿フォームに記入して、ご送付願います。

国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所調査課 URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/> 〒441-8149 豊橋市中野町字平路1番6 TEL0532-48-8107 FAX0532-48-8100 E-mail toyohashi@cbr.mlit.go.jp